

臨床研究に関する情報公開について

研究課題	自己導尿指導の進展を把握・共有できる評価表の運用評価 —広汎・準広汎子宮全摘術後の患者に使用して—
研究機関の名称	自治医科大学附属病院
研究責任者の氏名	稲見裕子
研究対象	2018年4月から2019年3月までに自治医科大学附属病院婦人科病棟に入院し、広汎・準広汎子宮全摘術を行い、自己導尿の指導を受けた患者さんを対象としています。
研究の目的・意義	広汎・準広汎子宮全摘術後に、自己導尿の指導を受けた患者さんに使用した自己導尿の評価表が、指導の進展を把握し、患者さんと看護師が指導すべき課題を共有し、看護師間でも指導内容と課題を共有することができたかを明らかにしたいと考えています。自己導尿の評価表の効果が明らかになることで、患者さんが早期に自己導尿の手技を習得し退院することができると考えております。
研究方法	患者さんに使用した自己導尿の評価表と、自己導尿の指導時の看護記録より、患者さんの言動、看護師の具体的な指導方法、指導時の状況、指導時の看護師の判断、次回の指導の方針を抽出して使用します。
研究期間	2018年8月17日から2019年3月31日まで
研究に利用する情報	患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 氏名、ID、年齢、術式、入院日数、自己導尿の手技を習得するまでの日数、自己導尿の指導時の患者さんの言動、看護師の具体的な指導方法、指導時の状況、指導時の看護師の判断、次回の指導の方針です。 患者さんが解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者までご連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されていたりする場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことは一切ありません。
研究に関する情報公開の方法	対象の方のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。
個人情報の取り扱い	診療録から抽出する情報は、個人を特定できないように、研究責任者が個人を特定できる情報（氏名、ID）を新しい符号に置き換えた上で研究に使用します。データは研究責任者が4階東病棟においてパスワードを設定したファイルに記録しUSBメモリに保存し、厳重に保管します。新しい符号と個人を特定する対応表も同様に厳重に保管します。また、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。
問い合わせ先および苦情の窓口	【研究責任者】 自治医科大学附属病院 4階東病棟 看護師 稲見裕子 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1 電話 0285-58-7213 【苦情の窓口】 自治医科大学臨床研究支援センター臨床研究企画管理部管理部門 電話：0285-58-8933